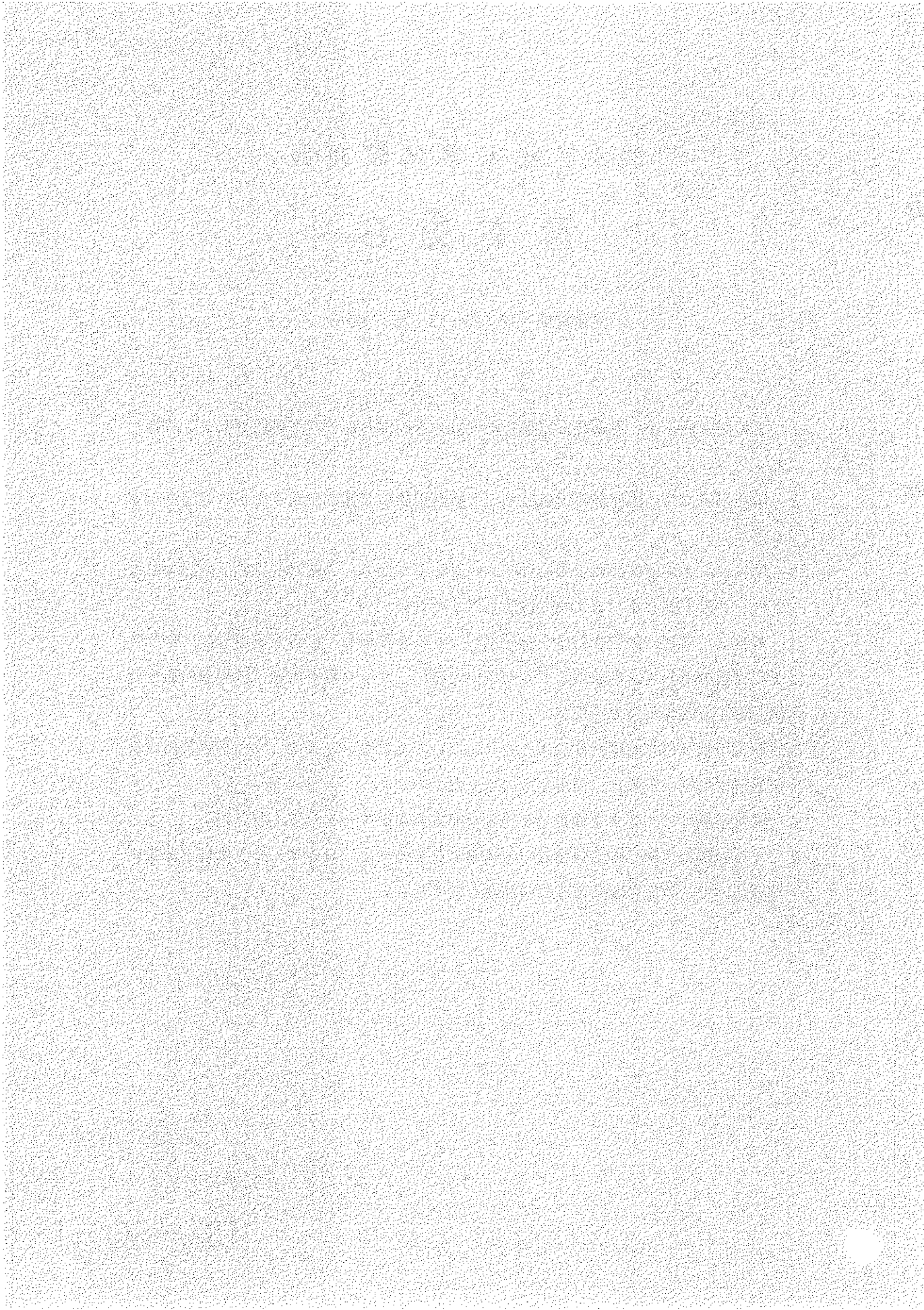


## 2018年度入学試験問題

# 日本史 B

(試験時間 16:25～17:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きを使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I つぎの(1)、(3)の文章及び(2)の史料を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところには正確な漢字で記入し、マークすべきところには一つ選んで、その記号をマークしなさい。(40点)

(1) 9世紀末から10世紀にかけての醍醐天皇と村上天皇の在位期間の大半には、天皇が直接政治を執り行う親政が行われ、後世に「延喜・天曆の治」と呼ばれた。<sup>①</sup>醍醐天皇の時代、『日本書紀』に始まる六国史の最後となる『日本三代実録』のほか、『延喜格』『延喜式』という法典や最初の勅撰和歌集『古今和歌集』が編集され、また村上天皇の時代には、「本朝（皇朝）十二銭」の最後となる（ A ）が鑄造された。

一方、両天皇の時代には、律令体制による徴税制度の行き詰まりが明確となっていた。朝廷は違法な土地所有の禁止や班田を命じ、令制の再建をめざしたが、戸籍や計帳の制度が崩壊し、班田収授の実施も難しくなったため、租や調・庸を取り立てて朝廷や地方の諸国の財政を維持することができなくなっていた。このため、朝廷は国司の交替制度を整備し、任国に赴任する国司のうち守又は介に大きな権限と責任を負わせ、財政の立て直しを図った。この地位は、やがて（ B ）と呼ばれるようになった。

（ B ）は、有力農民が田地の耕作を請け負うことを認め、官物と臨時雑役を課した。<sup>③</sup>官物とは租・調・庸や公出挙の利稻の系譜を引く税であり、また臨時雑役とは雑徭に由来し本来は労役である。課税の対象となる田地は、名という徴税単位にわけられ、それぞれの名には、負名と呼ばれる請負人の名前がつけられた。こうして、戸籍に記載された成人男性を中心に課税する律令体制の原則は崩れて、名に編成された土地を基礎にして負名から徴税する体制がつくられた。<sup>④</sup>

問1 空欄Aに入る適切な語を漢字4字で記しなさい。

問2 空欄Bに入る適切な語を漢字2字で記しなさい。

問3 文章中の下線①に関する説明として、適切な文章を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 醍醐天皇によって抜擢された学者出身の菅原道真は、『類聚国史』の編纂や遣唐使派遣の見直しを提言するなどの政策を実行した。
- イ. 醍醐天皇が藤原基経に阿衡への就任を命じたが、基経に拒否されたため、摂政や関白が設置されなかった。
- ウ. 醍醐天皇の時代における『古今和歌集』の編纂にならい、村上天皇は、『金槐和歌集』の編纂を命じた。
- エ. 醍醐天皇と村上天皇による親政の合間には、藤原忠平が摂政や関白に就任し、太政官の上に立って実権を握った。
- オ. 醍醐天皇の時代に編纂された『延喜格』『延喜式』の内、『延喜式』は村上天皇の時代に施行された。

問4 文章中の下線②に関係して、当時の状況を説明した適切な文章を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 開発領主の権威を利用して、検田使など国衙の使者の立入りを認めない不入の特権を得る荘園が増加した。
- イ. 庚午年籍の後、庚寅年籍まで戸籍がつくられることはなかったため、民衆の把握が進まなかった。
- ウ. 兵役・労役・租税を負担する成人男性ではなく、班田は受けるが調・庸を負担しない女性の数を増やした、実態とは異なると思われる戸籍がつくられた。
- エ. 政府は、墾田永年私財法を発し、開墾した田地の私有を永年に渡って保障したため、貴族・寺院や地方豪族たちの私有地が拡大した。
- オ. 政府は、班田収授を励行させるため、6年ごとの戸籍作成に合わせて6年1班であった班田の期間を12年1班に改める政策を始めた。

問5 文章中の下線③に関して、国司と結んで勢力をのぼし、大規模な経営を行った有力農民の名称として適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 大名田堵
- イ. 領家
- ウ. 在庁官人
- エ. 家子・郎党
- オ. 下人・所従

問6 文章中の下線④の時期にみられた次の出来事 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 尾張守藤原元命が「尾張国郡司百姓等解」によって郡司や有力百姓から暴政を訴えられた。
- b. 政府は延喜の荘園整理令を出して、違法な土地所有を禁止し、律令体制の復興をめざした。
- c. 地方政治が大きく変化していく中、東国では平将門の乱、また瀬戸内海周辺では藤原純友の乱が起こった。
- d. 房総半島で平忠常の乱が起こり、この乱を鎮圧した源頼信が、清和源氏の東国進出のきっかけをつくった。
- e. 三善清行が「意見封事十二箇条」を著し、中央政府の改革や経費節減・地方政治改革などの対策を醍醐天皇に提言した。

- ア. e→d→a→c→b
- イ. a→c→d→b→e
- ウ. d→a→b→e→c
- エ. b→e→c→a→d
- オ. c→b→e→d→a

(2) つぎの史料は、所領の領有権に関する中世の法令である。史料の原文は漢文であるが、読みやすいように書き改められている。

一 質券売買地の事

① 右、所領を以て或いは質券に入れ流し、或いは売買せしむるの条、御家人等<sup>たてい</sup>侘<sup>ちやい</sup>の基<sup>もと</sup>なり。向<sup>きやう</sup>後<sup>ごう</sup>に於<sup>お</sup>いては、停<sup>ちやう</sup>止<sup>じ</sup>に従<sup>したが</sup>ふべし。以前<sup>こきやく</sup>沽<sup>こ</sup>却<sup>きやく</sup>の分<sup>ぶん</sup>に至<sup>いた</sup>りては、本<sup>ほん</sup>主<sup>しゆ</sup>領<sup>りやう</sup>掌<sup>しやう</sup>せしむべし。但<sup>た</sup>し、或<sup>ある</sup>いは御<sup>おん</sup>下<sup>くだ</sup>文<sup>ぶん</sup>・下<sup>げ</sup>知<sup>ち</sup>状<sup>じやう</sup>を成<sup>な</sup>し給<sup>たま</sup>ひ、或<sup>ある</sup>いは知<sup>ち</sup>行<sup>ぎやう</sup>廿<sup>にじゅう</sup>箇<sup>ご</sup>年<sup>ねん</sup>を過<sup>す</sup>ぐるは、公<sup>こう</sup>私<sup>し</sup>の領<sup>りやう</sup>を論<sup>ろん</sup>ぜず、今<sup>いま</sup>更<sup>さら</sup>相<sup>あ</sup>違<sup>ちが</sup>有<sup>あ</sup>るべからず。若<sup>も</sup>し制<sup>せい</sup>符<sup>ふ</sup>に背<sup>そむ</sup>き、濫<sup>らん</sup>妨<sup>ぼう</sup>を致<sup>いた</sup>すの輩<sup>ともがら</sup>有<sup>あ</sup>らば、罪<sup>つみ</sup>料<sup>りやう</sup>に処<sup>お</sup>せらるべし。

次に非<sup>ひ</sup>御<sup>おん</sup>家人<sup>かじん</sup>・凡<sup>ぼん</sup>下<sup>げ</sup>の輩<sup>ともがら</sup>③の質<sup>しち</sup>券<sup>けん</sup>買<sup>か</sup>得<sup>とく</sup>地<sup>ち</sup>の事<sup>こと</sup>。年<sup>ねん</sup>紀<sup>き</sup>を過<sup>す</sup>ぐと雖<sup>いえど</sup>も、売<sup>う</sup>主<sup>しゆ</sup>知<sup>ち</sup>行<sup>ぎやう</sup>せしむべし。

問7 史料の名称として適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 寿永二年十月宣旨
- イ. 永仁の徳政令
- ウ. 御成敗式目
- エ. 半済令
- オ. 応安新式

問8 史料を制定した鎌倉幕府の執権の姓名を漢字4文字で記しなさい。

問9 史料中の下線①が表している内容について、最も適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 地質が悪く売買ができない所領
- イ. 売買の有無について質問があった所領
- ウ. 質入れされて売買ができない所領
- エ. 土地の売買を認める審査が受理された所領
- オ. 質入れされたり、売買された所領

問10 史料中の下線②について説明した文章として、最も適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 以前に返却した所領について、今の所有者が領有し支配することを幕府は認めたが、所領の譲渡・売却を認めて発行した幕府の公文書を取得しているか、又は所領を取得してから20年間を経過している場合には、公的・私的ともに過去の所有者の財産とされた。
- イ. 以前に購入した所領について、所有者本人が領有し支配することを幕府は認めたが、所領の譲渡・売却を認めて発行した幕府の公文書を取得しているか、又は所領を取得してから20年間を経過している場合には、荘園・公領ともに幕府の財産とされた。
- ウ. 以前に売却した所領について、元の所有者が領有し支配することを幕府は認めたが、所領の譲渡・売却を認めて発行した幕府の公文書を取得しているか、又は所領を取得してから20年間を経過している場合には、荘園・公領ともに現在の所有者の財産とされた。
- エ. 以前に売却した所領について、今の所有者が領有し支配することを幕府は認めたが、所領の譲渡・売却を認めて発行した幕府の公文書を取得しているか、又は所領の取得後20年間を経過していない場合には、公的・私的ともに過去の所有者の財産とされた。
- オ. 以前に購入した所領について、所有者本人が領有し支配することを幕府は認めたが、所領の譲渡・売却を認めて発行した幕府の公文書を取得しているか、又は所領の取得後20年間を経過していない場合には、荘園・公領ともに朝廷の財産とされた。

問11 史料の法令が出された理由を説明した最も適切な文章を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 御家人たちの多くは、分割相続の繰り返しによって所領が細分化されたうえ、貨幣経済の発展に巻き込まれて窮乏していった。このため、幕府は御家人領を無償で取り戻させ、窮乏する御家人を救う対策をとった。
- イ. 荘園領主に対抗する地頭や非御家人の新興武士たちは悪党と呼ばれ、武力に訴えて年貢の納入を拒否し、荘園領主に抵抗するようになった。このため、幕府は悪党となった御家人の活動を規制するために、所領の売買を禁止した。
- ウ. 荘園領主や地頭の圧迫・非法に対する農民の動きが活発となり、団結して訴訟をおこしたり、集団で逃亡するようになった。このため、幕府は農民を救済するために、農民に危害を加えた御家人の所領を没収して取り締まりを強化した。
- エ. 遠隔地を結ぶ商業取引が盛んとなり、金銭の輸送を手形で代用する為替が使われ、高利貸業者も多く現れた。幕府はこうした商業取引に対応して、所領の売買を活性化するために、所領の売買に関する制度を定めた。
- オ. 武家社会では惣領制が解体され、本家と分家が独立する一方、嫡子による単独相続が一般的になった。武士団はそれまでの血縁的結合に代わり、地縁的結合を重視したが、このために幕府は所領の売買に関する制度を定めた。

問12 史料中の下線③は、一般庶民を表す用語であるが、具体的には、当時の金融取引に関与していた高利貸業者を指している。高利貸業者を表す当時の名称を、漢字2文字で記しなさい。

問13 史料がつくられた時代の政治状況を説明した次のa～eの文章について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 鎌倉幕府は、皇位の継承や院政を行う権利、天皇家領荘園の相続などをめぐる持明院統と大覚寺統との争いを鎮めるため、両統の協議を働きかけた結果、文保の和談が行われた。



- b. 北条政子が亡くなると、北条泰時は執権を補佐する連署を置いて北条氏一族の有力者をこれに当て、ついで有力な御家人や政務に優れた 11 名を評定衆に選んで、執権・連署とともに合議制にもとづき政治を行った。
- c. 朝廷内で天皇の権限強化を推し進めて倒幕をめざす正中の変が起きたが、失敗に終わった。しかし、再び倒幕をめざす元弘の変が起き、悪党などの勢力を結集して、蜂起する者が相次いだ。
- d. 北条時頼は執権に就任すると、朝廷に政治の刷新と制度改革を求め、院評定衆が置かれた。また時頼は宝治合戦で鎌倉幕府の有力御家人である三浦泰村一族を滅ぼして幕府内における北条氏の地位を不動のものとした。
- e. 高麗を服属させた元（モンゴル）は、日本に対して度々朝貢を強要してきたが、執権の北条時宗はこれを拒否したため、元は大挙して対馬・壱岐を攻め、九州北部の博多湾に上陸する文永の役が起きた。

- ア. e → c → a → d → b
- イ. b → d → e → a → c
- ウ. d → a → b → c → e
- エ. a → e → c → b → d
- オ. c → b → e → a → d

(3) 江戸幕府は、豊臣政権に続く統一政権として、日本全国に通用する貨幣を安定して供給する役割を担い、17世紀中頃までには、金・銀・銭の三貨が全国に広く供給され、商品流通の飛躍的な発展を支えた。<sup>①</sup>その歴史をたどると、徳川家康が1600年頃から金座・銀座で大量につくらせた（A）は、貨幣の品位や規格を同一にして鑄造された日本初の金・銀貨幣とされる。江戸と京都に置かれた金座では、（B）のもとで小判などの（C）が鑄造されたが、こうした金貨の制度は、戦国時代に武田信玄が治めた甲斐国で鑄造された甲州金の制度を参考にしたと考えられている。また、はじめ伏見・駿府に置かれ、後に京都・江戸に移された銀座では、丁銀や豆板銀などの（D）が鑄造された。やがて金座・銀座は江戸にまとめられた。一方、銭貨は、17世紀前半に江戸や近江国の坂本をはじめ全国に10か所前後開設された銭座で、中世に外国からもたらされ国内で広く流通した渡来銭に

替わって、( E ) が大量に鑄造された。これらの貨幣は、江戸・大坂・京都の三都や各城下町の<sup>②</sup>両替商により流通が促進された。

問14 空欄Aに入る最も適切な名称を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 享保金銀
- イ. 慶長金銀
- ウ. 元禄金銀
- エ. 宝永金銀
- オ. 正徳金銀

問15 空欄Bに入る最も適切な人名を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 角倉了以
- イ. 河村瑞賢
- ウ. 茶屋四郎次郎
- エ. 萩原重秀
- オ. 後藤庄三郎

問16 空欄Cには、一定の純度と分量と形状を持ち、一定の価格が表示され、個数や額面で通用する貨幣の形態を表わす名称が入る。最も適切な名称を漢字四文字で記しなさい。

問17 空欄Dには、重さを計って価値を決めて使用した貨幣の形態を表わす名称が入る。最も適切な名称を漢字四文字で記しなさい。

問18 空欄Eには、徳川家光が将軍であった時代に鑄造され始めた貨幣の名称が入る。最も適切な名称を漢字四文字で記しなさい。

問19 文章中の下線①に関して、最も適切な説明文を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 東日本ではおもに銀貨が使用される一方（銀遣い）、西日本ではおもに金貨が使用されており（金遣い）、それぞれ取引や貨幣計算の中心とされた。
- イ. 幕府財政の悪化にともない、新井白石は金貨や銀貨の改鑄を行い、金や銀の含有率を減らし、質の劣った貨幣の発行を増加して多大な収益を上げた。
- ウ. 金貨・銀貨・銭貨の交換比率は、1609年に金1両＝銭4貫文が銀50匁（後に60匁）と定められたが、実際には相場によって常に変動するなど、貨幣制度は明治時代まで統一されなかった。
- エ. 金貨・銀貨・銭貨の不足分を補うため、各藩では割符を発行して、城下町を中心とする領地内で流通させた。
- オ. 幕府は、長崎貿易において多くの金貨や銀貨を海外に輸出するために、海舶互市新例を発して貿易額を増加させた。

問20 文章中の下線②の両替商の活動に関して、最も適切な説明文を一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 両替商は、金貨・銀貨・銭貨の交換を担ったが、預金・貸付・為替取組・手形発行に関わる業務は禁止された。
- イ. 三井高利は、両替商とともに荒物屋の経営も行い、また鉱山の開発や経営にも積極的に携わった。
- ウ. 大坂や江戸の本両替など有力な両替商は、幕府や藩の公金の出納や為替・貸付をおこない、その財政を支えた。
- エ. 両替商は、財政政策をめぐって幕府や各藩と対立を繰り返したため、18世紀はじめには廃止された。
- オ. 天王寺屋・平野屋・鴻池は、いずれも江戸を拠点に活動した両替商であり、当時の経済の中心地は幕府が置かれた江戸に集中していた。

Ⅱ つぎの史料(1～3)を読んで、以下の各設問に答えなさい。(30点)

史料1. このほかにも倒幕運動に連座したことを加え、 は二度、南の島に流されました。一八六三年のイギリス艦隊による砲撃後、鹿児島に戻り、ふたたび以前の倒幕運動に復帰しましたが、今度は前より慎重でした。 の斡旋により、徳川幕府と との間に和解が成立しました。だが、一年後、徳川幕府が に無理難題を突き付けたところ、 側の峻拒にあいました。このために「 征討」が起こると、薩摩藩は の指示にもとづき、幕府側から割り当てられた、遠征軍に参加する兵隊の派遣を断りました。このときの薩摩の政策が、のちに維新革命史において決定的な意義をもつ、あの有名な「 連合」の発端でした。征討軍の全面的な敗北と、外交交渉にみられたひどい不手際とにより、旧政府の没落は意外に早く訪れました。

連合軍が、倒壊に瀕している政権打倒のための詔書を手にしたまさに同じ日、将軍はみずから進んで、三世紀にもわたった政権を放棄し、外見上なんの抵抗をもみず<sup>③</sup>に正当な主権者の復権をみたのであります(一八六七年十月一四日)。連合軍と同盟軍とによる京都の占拠、「一二月九日の大詔渙発」、将軍の二条城からの撤退が、たてつけに急速に行われました。

一八六八年一月三日には、伏見の戦いで戦争が始まりました。官軍が全面的に勝利<sup>④</sup>をおさめ、以後、賊軍と呼ばれた徳川方は、東方に逃げました。二つの大軍がその後を追い、は東海道軍を指揮しました。抵抗なく四月四日、江戸城は官軍に明け渡されました。その後の驚くほどの大影響を考えると、その革命は、史上もっとも安価な革命でありました。

(出典：「代表的日本人」 内村鑑三著 鈴木範久訳 岩波文庫 p.25) 原文の不備は一部修正してある。

問1 この文章は明治の教育者、思想家である内村鑑三の著作「代表的日本人」の邦訳からの抜粋である。文中 にはある人物の姓が入る。この人物の姓名を該当する漢字4字で記しなさい。

問2 文中  に当てはまる藩の名を漢字2字で記しなさい。

問3 文中  に当てはまる連合の名称を漢字2字で記しなさい。

問4 下線部④の将軍の名として適切なものを以下の中から選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 徳川慶喜
- イ. 徳川慶富
- ウ. 徳川家定
- エ. 徳川斉昭
- オ. 徳川家慶

問5 下線部⑤の事件として適切なものを以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 八月十八日の政変
- イ. 西南戦争
- ウ. 禁門の変
- エ. 天狗党の乱
- オ. 戊辰戦争

問6 上記問5の事件の1868年の主戦場では少年達からなる白虎隊や娘子軍も戦闘に参加した。その舞台となった城の所在地の現在の道または県名を以下の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 栃木
- イ. 宮城
- ウ. 北海道
- エ. 福島
- オ. 新潟

史料2. 谷間の文化 江崎誠致

<古き良き時代>——<sup>Ⓐ</sup>十五年におよぶ昭和の動乱があまりにもすさまじかったため、明治のあとに訪れた  デモクラシーのささやかな平安をふりかえるとき、ふと人々の口をついて出る言葉である。

の文化は谷間の文化である。明治に基礎を置く日本の近代は、 期に入って一応の発展は見せた。映画・新劇・ラジオ、表面モダンな新文化の流れのなかで、資本主義の恩恵にあずかる中産階級の出現、和洋折衷の文化住宅の食膳には、たくあんと味噌汁に加えてコロケが登場した。

と同時に、 デモクラシーは国民に個我の思想をもたらし、自由の仮面の裏に不合理な現実が同居していることを認識させた。目ざめた人々によって、政治結社・労働運動・小作争議・<sup>Ⓑ</sup>婦人解放・<sup>Ⓒ</sup>その他の社会運動が堰を切って発生した。だが、それら民衆の自覚は、来るべき暗黒時代へのはなむけとして、権力の弾圧に摘みとられるべき運命にある日陰の花だった。天日の下で、刈っても生える雑草のデモクラシーではなかった。

の文化は谷間の文化であった。竹久夢二は甘く悲しい女の姿を描き、野口雨情は淋しげに「船頭小唄」を歌った。あらためてこの<古き良き時代>をかえりみると、そこには暗い郷愁の影が浮んでくる。

(出典：「日本の歴史 大正・昭和14」 研秀出版 p.12)

問7 下線部<sup>Ⓐ</sup>の動乱期の意味するところとして適切なものを以下の中から選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 盧溝橋事件からポツダム宣言受諾まで
- イ. ヴェルサイユ条約調印からポツダム宣言受諾まで
- ウ. 柳条湖事件からポツダム宣言受諾まで
- エ. 真珠湾攻撃からポツダム宣言受諾まで
- オ. 三国同盟からポツダム宣言受諾まで

問8 文中  に該当する用語を漢字で記しなさい。

問9 下線部⑤の婦人解放運動のために平塚らいてうや市川房枝らによって設立された団体の名称として適切な用語を漢字5字で記しなさい。

問10 下線部⑥に該当する社会運動で、西光万吉らを中心とし、全国水平社の結成に繋がった運動の目標として最も適切なものを以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 労働者の賃金の引き上げ
- イ. 部落解放
- ウ. 小作料の引き下げ
- エ. 労使協調
- オ. 男性普通選挙権の獲得

問11 竹久夢二と同時期に活動した代表的画家の名として適切ではないものを以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 安井曾太郎
- イ. 梅原龍三郎
- ウ. 岸田劉生
- エ. 横山大観
- オ. 高橋由一

問12 野口雨情の作品ではないものを以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 七つの子
- イ. 赤い靴
- ウ. 青い目の人形
- エ. シャボン玉
- オ. 十五夜お月さん
- カ. からたちの花

史料 3.

うえはらりょうじ  
上原 良 司

一九二二年（大正十一）九月二十七日生。長野県出身

慶應義塾大学予科を経て、一九四三年（昭和十八）経済学部入学

一九四三年十二月一日、松本歩兵第五〇連隊に入隊

—中略—

思えば長き学生時代を通じて得た、信念とも申すべき理論万能の道理から考えた場合、これはあるいは、自由主義者といわれるかも知れませんが、自由の勝利は明白な事だと思えます。人間の本性たる自由を滅す事は絶対に出来なく、例えそれが抑えられているごとく見えても、底においては常に闘いつつ最後には必ず勝つという事は、かのイタリアのクロウチェ〔イタリアの哲学者。一八六六～一九五二〕も言っているごとく真理であると思えます。権力主義全体主義の国家は一時的に隆盛であろうとも、必ずや最後には敗れる事は明白な事実です。我々はその真理を今次世界大戦の A 国家〔日本・ドイツ・イタリア三国同盟の諸国〕において見る事が出来ると思えます。ファシズムのイタリアは如何、ナチズムのドイツまた、既に敗れ、今や権力主義国家は、土台石の壊れた建築物のごとく、次から次へと滅亡しつつあります。真理の普遍さは今、現実によって証明されつつ、過去において歴史が示したごとく、未来永久に自由の偉大さを証明して行くと思われまふ。自己の信念の正しかった事、この事はあるいは祖国にとって恐るべき事であるかも知れませんが吾人にとっては嬉しい限りです。現在のいかなる闘争もその根底を為すものは必ず思想なりと思う次第です。既に思想によって、その闘争の結果を明白に見る事が出来ると信じます。愛する祖国日本をして、かつての大英帝国のごとき大帝国たらしめんとする私の野望は遂に空しくなりました。真に日本を愛する者をして立たしめたなら、日本は現在のごとき状態にはあるいは追い込まれなかったと思えます。世界どこにおいても肩で風を切って歩く日本人、これが私の夢見た理想でした。

空の B のパイロットは一器械に過ぎぬと一友人が言った事は確かです。操縦桿を採る器械、人格もなく感情もなく、もちろん理性もなく、ただ敵の航空母艦に向かって吸いつく磁石の中の鉄の一分子に過ぎぬのです。理性をもって考えたなら実



に考えられぬ事で、強いて考うれば、彼らが言うごとく自殺者とでも言いましょうか。精神の国、日本においてのみ見られる事だと思います。一器械である吾人は何も言う権利もありませんが、ただ願わくば愛する日本を偉大ならしめられん事を、国民の方々にお願いするのみです。

(出典：新版「きけわだつみのこえ」 岩波文庫 p.17～19)

問13 文中  に該当する用語を漢字2字で記しなさい。

問14 文中  に該当する用語を短縮形の漢字3字で記しなさい。

問15 下線部③にある、ドイツ敗戦を導く転機となった戦場を以下の語群の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. ダンツイヒ

イ. ゲルニカ

ウ. サライエヴォ

エ. ノモンハン

オ. スターリングラード

Ⅲ つぎの文章（1～8）の空欄（ア～ク）に入れるのもっとも適切な語句を考え、正確な漢字で記入しなさい。なお、人名を記入する場合には姓名を記入すること。また、括弧（①～⑦）については、もっとも適切な語句をそれぞれの括弧の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。（30点）

1. 1891年に生まれた（ア）は、京都帝国大学法科大学政治学科を卒業した。1933年、京大時代の友人である後藤隆之助が、彼を将来の首相候補として構想し、組織した私的な政策研究会が①（a. 大政翼賛会 b. 昭和研究会 c. 東方会 d. 協調会 e. 血盟団）である。彼は1937年6月に首相となるが、その直後に日中戦争が勃発している。当初、彼の内閣は不拡大を方針としていたが、華北に日本軍を派兵した。この後、日本側の宣戦布告のないまま、日中戦争は全面化・泥沼化していった。なお、彼は1940年7月から1941年10月までの期間にも首相を務めている。アジア太平洋戦争（太平洋戦争）敗戦前の1945年2月14日、彼は天皇に対して、日本の敗戦がもはや不可避であること、日本の共産化の危機があることを訴え、戦争終結を主張した。彼が行ったこの意見上奏は、（イ）〔漢字5文字〕と呼ばれている。1945年12月、服毒自殺。
2. 1945年4月、海軍出身の②（a. 岡田啓介 b. 阿部信行 c. 鈴木貫太郎 d. 米内光政 e. 東久邇宮稔彦）が内閣を組織した。彼は、侍従長在任中の1936年に発生した③（a. 五・一五事件 b. 四・一六事件 c. 二・二六事件 d. 三・一五事件 e. 五・三〇事件）で襲われて重傷を負った経験を持つ。1945年7月、アメリカ、イギリス、中国の名でポツダム宣言が発表されるが、これに対して日本側は、「黙殺」との声明を發した。この後、既に核実験を成功させていたアメリカが、8月6日に広島へ、8月9日に長崎に原子爆弾を投下した。8月8日にはソ連が対日宣戦を通告し、9日には満州、朝鮮、南樺太に侵攻している。こうした事態のなか、日本側はポツダム宣言の受諾を決定、8月15日の正午に天皇がラジオで戦争の終結を伝えることとなった。なお、降伏文書への調印は、1945年9月2日、東京湾上にある戦艦ミズーリ号にて行われている。

3. 1884年に生まれた（ウ）は、1907年に早稲田大学文学部哲学科を卒業、1911年に東洋経済新報社に入社してジャーナリストとしての道を歩んだ。同社で編集長、専務取締役主幹などの要職を務めた後、1941年2月には取締役社長に就任した。彼は『東洋経済新報』において言論活動を展開、帝国主義的な日本の大陸進出を批判し、満州や朝鮮の放棄や平和的な産業の育成などを唱えた（エ）〔漢字5文字〕を主張した。アジア太平洋戦争後は政界に転じて、大蔵大臣や通商産業大臣などを務めた。1956年12月には、鳩山一郎内閣の後を継いで内閣を組織したが、病気のため65日間で辞任した。日中・日ソ国交回復に尽力したことで知られている。1973年没。

4. 1901年に生まれた（オ）は、東京帝国大学法学部法律学科を卒業後、鉄道関連の仕事に従事した。二日市駅長、鉄道省監督局総務課長などを経て、1944年4月には大阪鉄道局長に就任している。アジア太平洋戦争後は、運輸省鉄道総局長官や運輸次官を務め、1949年1月に衆議院議員となった。彼はその後、通商産業大臣などの職に就き、1964年11月には首相となった。彼は、1964年から1972年にかけて、三次にわたって内閣を組織したが、彼の首相在任中の出来事としては、④（a. 日中共同声明　b. 日ソ共同宣言　c. 新安保条約　d. 日韓基本条約　e. 日中平和友好条約）調印や、小笠原諸島と沖縄の返還がある。1975年没。

5. 1982年11月、鈴木善幸の後を受けて⑤（a. 竹下登　b. 大平正芳　c. 宇野宗佑　d. 福田赳夫　e. 中曽根康弘）が首相となり内閣を組織した。彼の内閣では、防衛費の大幅な増額がはかられ、1987年度予算では防衛費がGNP1%枠を突破することになった。一方、この内閣では社会福祉予算の抑制もうちだされている。また、この内閣はアメリカとの緊密な協力関係の構築を唱え、日本列島はソ連の進出をふせぐ不沈（カ）〔漢字2文字〕であるとも述べている。

6. 1993年、小選挙区制導入をめぐって自由民主党内で内紛が生じ、宮沢喜一内閣に対する不信任案が可決された。こうして、衆議院議員選挙が実施されることとなったが、この選挙で自由民主党は議席の過半数を獲得することができず、日本新党の（キ）を首相とする連立内閣が誕生することとなった。この連立内閣の時の出来事には、⑥（a. コメ市場部分開放の受諾　b. 新ガイドライン関連法公布　c. 原爆被爆者援護法公布　d. 財政構造改革法公布　e. 消費税創設）がある。
7. 戦後50年にあたる1995年、⑦（a. 森喜朗　b. 小渕恵三　c. 橋本龍太郎　d. 村山富市　e. 羽田孜）は、首相談話で植民地支配と侵略への反省を述べた。
8. 2011年3月11日、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故が発生した。死者・行方不明者は1万9千人を超え、原発事故による放射線被害が深刻化した。日本では、1955年に制定された（ク）法がうたう、原子力の平和利用の三原則にもとづいて、各地で原子力発電所が建設されてきた。石油危機以降、日本政府は石油に代わるエネルギーとして原子力発電に力を注いでいる。しかし、1990年代には多くの事故が生じていた。東日本大震災における福島原発事故などにより、原発の安全性への信頼がゆらぎ、エネルギー政策そのものの再検討が課題とされるようになった。







